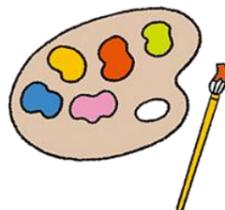


## ギャラリー利用者募集

図書館の2階ギャラリーで、趣味の作品やコレクションを展示してみませんか？

- 展示期間：平成30年10月～平成31年3月のうち1ヶ月
- 対象：市内で活動する個人またはグループ  
※希望者が重複した場合は、図書館で調整します
- 申込み：4月1日（日）～30日（月）に、図書館に備付けの申請用紙を図書館本館へ
- 問合せ：0566-41-0894

※販売目的の利用はできません  
※希望が重複した場合は、図書館で調整させていただきます



### 休館日

#### 3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

#### 4月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ は本館の休館日です

### 3月のギャラリー

#### 『書道展』

期間：3月6日（火）  
～28日（水）  
提供：美和スクールりんご接骨院

※ギャラリーの展示は17時までです

#### 編集後記

今年の冬は記録的な寒波に見舞われました。北国の方々には笑われてしまいそうですが、温暖な碧南でも寒さに凍える日が多かったですね。冷え症な私は、ちょっぴりしもやけができてしまい、痛痒くてもぞもぞしていました。暖かな春が心から待ち遠しいです。（お）

けやきどおり通信（No.294）

編集・発行 碧南市民図書館

〒447-0057  
碧南市鶴見町1-70-1  
Tel：(0566) 41-0894



# けやきどおり通信



2018年3月 ～NO. 294～

## DEBUT!!

### ～あの作家のデビュー作

寒さが少しずつ和らぎ、春の気配が近づいてきています。春は別れの季節と言われますが、同時に新しい世界へ羽ばたく季節でもあります。新しい学校、新しい会社、新しい趣味、そして新しい人との出会い…。さて、みなさんは華々しいデビューを果たすことができるでしょうか？今月の特集は、『DEBUT!』と題して、人気作家たちのデビュー作を集めてみました。

#### 「果つる底なき」 池井戸潤/著 講談社（BFイ）

ドラマ「半沢直樹」の原作『オレたちパブル入組』をはじめとした人気作品目白押しの池井戸は、この作品で江戸川乱歩賞を受賞しデビュー。大銀行の闇に切り込んだ金融サスペンス。

#### 「六番目の小夜子」 恩田 陸/著 新潮社（BFオ）

OLを退職して書き上げたというこの作品は、日本ファンタジーノベル大賞の最終候補作に上り、デビュー作となった。ある高校に伝わる奇妙なゲームを題材とした青春ミステリー。のちにドラマ化された。

#### 「放課後」 東野圭吾/著 講談社（BFヒ）

名門女子高を舞台にしたミステリー。この作品で江戸川乱歩賞を受賞し、作家として本格的に活動を始めた。それ以前に、江戸川乱歩賞で最終候補まで残った『魔球』（講談社/BFヒ）も併せてどうぞ。



「ウランバーナの森」 奥田英朗/著 講談社 (Fオ)

文学賞の受賞からではなく、出版社への持込みから本作でデビュー。隠遁生活を送る“世紀のポップスター”、ジョンが、夏の軽井沢で幽霊と便秘に襲われた！ジョンの再生と不思議な体験を描いたファンタジー。

「ルンルンを買っておうちに帰ろう」 林真理子/著 角川書店 (B914ハ)

処女作にしてベストセラーとなったエッセイ。のちに『最終便に間に合えば』『京都まで』(文藝春秋/BFハ)で第94回直木賞を受賞した。現在放映中の大河ドラマ『西郷どん!』(KADOKAWA/Fハ)の原作小説も手がけている。

「終点のあの子」 柚木麻子/著 文藝春秋 (Fユ)

思春期の女子高生の友情の危うさを鮮烈に描いた。『フォーゲットミー、ノットブルー』でオール読物新人賞を受賞し、短編4作を掲載した本作でデビュー。

「塩の街」 有川 浩/著 メディアワークス (YBFア)

電撃ゲーム小説大賞を受賞し、ライトノベルのレーベルからデビュー。この作品と、『空の中』『海の底』(メディアワークス/YBFア)を合わせて“自衛隊三部作”と称されている。こちらもどうぞ。

「桐島、部活やめるってよ」 朝井リョウ/著 集英社 (Fア)

小説すばる新人賞を受賞したこの作品は、映画化もされ話題になりました。バレー部キャプテンが突然部活をやめたことにより、小さな波紋が広がっていく。5人の高校生の視点から描かれたオムニバス小説。<DVD所蔵>

「最後の息子」 吉田修一/著 文芸春秋 (Fヨ)

文学界新人賞を受賞した作品。オカマの“閻魔ちゃん”と新宿で同棲しながら、時々ガールフレンドとも会うという気楽な日々を送っている“ぼく”だったが…。その他2作を収録。

「幸福な遊戯」 角田光代/著 福武書店 (Fカ)

家族でも恋人でもない女1人、男2人の奇妙な共同生活のたった一つのルールは“同居人同士の不純異性交為”だった。そのほか2編を含めた短編小説。海燕新人文学賞受賞作。

「卯の緒」 瀬尾まいこ/著 マガジンハウス (Fセ)

坊っちゃん文学賞大賞を受賞してデビュー。“僕は捨て子だ”という一文で始まる本作は、小学生の主人公を軸に、家族のあり方を繊細に、鮮やかに描き出す中編小説。

「怪物が街にやってくる」 今野 敏/著 大陸書房 (Fコ)

警察小説のイメージが強い今野敏のデビュー作の題材は、なんとジャズ。世界最強と謳われたジャズバンドを引退した武田と、かつての仲間である上杉との対決を描いた。問題小説新人賞受賞作。

「となり町戦争」 三崎亜記/著 集英社 (Fミ)

突然、広報で知らされたのは、隣町との戦争が始まった、という突拍子もない話だった。現実感のないまま進む、不可思議な戦争の中で暮らす人たちを描く。小説すばる新人賞受賞。<DVD所蔵>

「探偵はバーにいる」 東 直己/著 早川書房 (Fア)

ススキノのバーを根城にする探偵兼便利屋と、空手の使い手である大学生・高田の活躍を描いたハードボイルド・ミステリ・シリーズ。映画化もされ、話題となった。

「ビフォア・ラン」 重松 清/著 ベストセラーズ (Fシ)

高校生・優は、授業で耳にした“トラウマ”という単語に心を奪われる。平凡で冴えない自分に足りないものはこれだと考えた彼は、生きている同級生の墓を作ってしまう。カッコ悪くて青臭い青春小説。

「あおい」 西 加奈子/著 小学館 (Fニ)

『サラバ!』(小学館/Fニ)で直木賞を受賞した西加奈子のデビュー作の主人公は27歳、スナックに勤める“あたし”。3つ年下のダメ大学生カザマくんとの間に子どもができたことに気づいたあたしのとった行動とは…。

- ◆「十角館の殺人」 綾辻行人/著 講談社 (Fア)
- ◆「死者の木霊」 内田康夫/著 講談社 (Fウ)
- ◆「完璧な病室」 小川洋子/著 福武書店 (913オ)
- ◆「凍える島」 近藤史恵/著 東京創元社 (Fコ)
- ◆「空を見上げる古い歌を口ずさむ」 小路幸也/著 講談社 (Fシ)
- ◆「占星術殺人事件」 島田荘司/著 講談社 (Fシ)
- ◆「リレキショ」 中村 航/著 河出書房新社 (Fナ)
- ◆「すべてがFになる」 森 博嗣/著 講談社 (Fモ/BFモ)
- ◆「精霊の木」 上橋菜穂子/著 偕成社 (YFウ)
- ◆「はるかいったら」 飛鳥井千砂/著 集英社 (Fア)
- ◆「QED 百人一首の呪」 高田 崇史 講談社 (Fタ)

棚にないときは  
予約をどうぞ!

